

皆様、こんにちは。
府中教会、アンドレアです。

マタイによる福音の中では、先週の日曜日に読んだ福音が大事な箇所の一つだと言われています。なぜかと言うと、イエスは初めてイスラエルの国境を越えて、外国である外国人のお母さんの「立派な信仰」をきっかけに自分の召命について新しい意味が分かったからです。先週の福音によると、イエスは、「私は、イスラエルの家の失われた羊のところにしか遣わされていない」と思ったそうです。しかし、あの素晴らしい出会いの後で国土、国籍、宗教にかかわらず、外国人のためにもイエスが自分の宣教の範囲の働きをだいぶ広げて福音を宣教したり、病気を治したり、パンを分かち合ったりし始めました。イエスの自分なりの召命の意識よりも、あの心配しているお母さんの必死の祈りのほうが強かったのです。それでは、私たちは、私たちの祈りの力を信頼しませんか、それとも十分に信頼しますか。

さて、イエスは この新しい印象を受け取ってエルサレムに行く前に自分のアイデンティティ・テストが必要と思いました。「あなたがたは私を何者だと言うのか」こうイエスははっきり弟子たちと私たちに尋ねます。イエスが私たちに直接問いかける質問は次の通りだと思います。「私はあなたにとってだれなのか。あなたの人生にとって私はどんな意味があるのか。私と話し合う気があるか。私に従い、私を愛して、いつも私と一緒にいる心構えがあるか。あなたが予想もしないところででも、私があなたと一緒にいるのを感じますか。」

私たちも、このイエスの質問に答えてみましょう。答えは、時々難しくなるかもしれませんが。他の人々が私のことを見て、私がキリスト教徒だと察してくれるのでしょうか。そして、イエスと友達になると本当に素晴らしくて楽しい生活が送れると出会った人々に伝えることができるのでしょうか。

